

令和7年度 二戸市総合計画推進委員会 議事録

日時：令和7年11月11日（火）午前9時30分～9時54分
場所：市役所1階会議室

【出席委員】

川上隆委員、中田勇司委員、馬淵貴尋委員、高橋美佐子委員、田ロケイ子委員、工藤美緒委員、小保内威彦委員、大建ももこ委員、馬場真樹子委員、薄井大輔委員 ※生内雄二委員は欠席

【説明のため出席した職員】

藤原淳市長、加藤暢之教育長／千葉守総務部長、泉山茂利樹市民部長／安ヶ平貴之財政課長

（事務局）横館英昭総合政策課長、藤原悠治副主幹兼政策推進係長、菅原恵美子主査兼総合政策係長

～～～ 開会 午前9時30分 ～～～

総合政策課長 本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。
ただいまより、令和7年度二戸市総合計画推進委員会を開催いたします。
私は、本日進行を務めさせていただきます、二戸市総務部総合政策課の横館と申します。どうぞよろしくお願いいたします。
今年度初めての開催ということで、本来であれば、委員の皆様お一人ずつに委嘱状をお渡しすべきところですが、時間の都合によりお席にお配りさせていただいております。
お名前等間違いがないか、ご確認いただけますと幸いです。
それでは事務局より、お手元の名簿に従いまして、委員の皆様をご紹介させていただきます。

（出席委員の紹介）

次に、市の出席者を紹介させていただきます。

（市側出席者の紹介）

次第の3、あいさつに移ります。藤原市長より挨拶を申し上げます。

市長

お忙しいなか、早朝よりご出席いただきありがとうございます。
平成28年度よりスタートしました第2次二戸市総合計画も10年目を迎えております。この推進委員会は、1年ごとに計画の進捗に対してご意見をお伺いする会でございます。商工会や観光協会、重点的にまちづくりを進めている4つの地区の皆様方、保健委員協議会や農業の分野などの皆様においていただいているところでございます。
本日の会議は、私1月で辞めさせていただくこととなりましたことから、総合計画が途切れないようにするにはどうすればよいかと考えた結果、新しい市長の下で計画を作るため、1年間の延長をさせていただきたいという趣旨から開催したものであります。総合計画は議会の議決を経て進める必要があることから、皆さまのご意見をいただいて、今後10年間になるか8年間になるか分かりませんが、二戸市はこういう方向で舵取りをしていく、という計画を作ろうとするものです。
この10年間の間には、おかげさまで金田一地区ではカダルテラスの整備を終え、来年は開湯400年、九戸城につきましては本丸二の丸の整備を終え、裁判所は移るということで工事が

進められています。駅前につきましては、東側が寂しくなったと言われていますが、新しく産技短でも持ってきて盛り上げていただければと思っておりますし、浄法寺地区につきましては天台寺の改修が令和2年に終わり、漆については国に2トンを早く採れと言われていますが、植樹をしながら漆の増産に努めているところです。中心になって動いていただいた皆様方、また観光ツーリズム協会という新しい体制の下に、これから基盤を築いてどうやって二戸に人を呼ぶか、考えながら進めていかなければならないと思っていました。

人口減少が進む中でどうやっていけばよいのか、新しい計画を1年間伸ばしながら皆さんの意見をお聞きし、市におきましては、持続可能な行財政運営ということで、入ってくる金が少なくなる中でどのように動かしていけばよいのか、いろいろ課題もございますが、今後皆さんに考えていただきたいと思います。学校統合や駅前地区について、どうすれば400億円をかけた区画整理事業が生き返ってくるのか、考えていかなければならないと思っております。

忌憚のないご意見等を賜ればと思います。よろしくお願いいたします。

総合政策課長 続きます、次第の4、委員長及び副委員長の選出に移ります。
二戸市総合計画推進委員会設置要綱、第5条第1項の規定では、委員の互選により定めることとなっておりますが、いかがでしょうか。

薄井委員 事務局一任で。

総合政策課長 事務局一任との声がありましたので、事務局から提案させていただきます。
中田委員に委員長を、馬淵委員に副委員長をお願いしたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。

(委員より「異議なし」の返答)

ご異議なしとのことでしたので、それでは、委員長は中田委員、副委員長は馬淵委員をお願いいたします。

中田委員は、委員長席にご移動願います。

(委員長移動)

それでは、中田委員長より、ごあいさつをいただきたいと存じます。
よろしくお願いいたします。

中田委員長 ただいまご指名をいただきました、中田でございます。本日は、お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。委員長の重責を担うことになり身が引き締まる思いですが、皆様のお力添えをいただきながら、二戸市のさらなる発展のため、誠心誠意努めてまいりたい所存です。
本委員会は、二戸市が、総合計画に掲げる未来像の実現のため、その方向性を協議いただく、貴重な機会となっております。委員の皆様におかれましては、ぜひ、忌憚のないご意見を賜りますよう、お願い申し上げます。

総合政策課長 ありがとうございます。続きます、次第の5、議事に移ります。
二戸市総合計画推進委員会設置要綱、第6条の2の規定により、委員長が議長を務めることとなっておりますので、ここからの議事進行は、中田委員長をお願いいたします。

中田委員長 それでは、議事の「(1) 第2次二戸市総合計画の期間延長について」、事務局より説明をお願いいたします。

総務部長

(資料説明)

中田委員長

説明が終わりました。ただいまの事務局の説明に対して、ご質問やご意見はございませんか。

(なし)

それでは、本件につきましては、皆様からのご意見も踏まえ、次期総合計画をより良いものにするための、前向きに必要な対応であるという共通認識を持てたものと理解いたします。

次に、議事の「(2) その他」に移ります。皆さまから何かございませんでしょうか。

(なし)

ないようですので、これで議事を終了します。進行にご協力いただき、ありがとうございました。

総合政策課長

中田委員長、大変ありがとうございました。

ここで、市長より総括的な言葉をいただきましたらと思います。

市長

稲庭高原に風力発電の設置が40基予定されており、日本有数のところになると聞いています。設置する2社、グリーンパワーとインベナジーという会社に行きまして、できるだけ地元の材料を使ったり地元に卸して電気を回してほしいというお願いをしてきました。

これまで先輩方が受け継いできたものに、さらに磨きをかけながら新しく行くんだと、例えば金田一温泉についてもそうですし、浄法寺漆についてもユネスコ無形文化遺産や日本遺産の指定を受けまして、天台寺も令和10年に開山1300年を迎えますが、それを契機にさらに上へ上へと皆さんの力をいただきながら上がっていければよいのかなと思っております。

これから国から来る金についても、不安定な政治経済状況でありますので、うまくクリアしていかなければならないということで、一つ一つの事業についてはたくさん思い出がありますが、議会にも叱られてばかりで、カダルテラスも造ったときは「人が来ないのに3千万4千万も金をつぎ込んで」と怒られながらも、今軌道に乗ってきてよかったなど。

次の時代にどういうふうに繋いでいくのか、新しい、風力や、産技短も知事に言ってきていただいていますので、そういったものを活用しながら皆さんの力で二戸市を盛り上げていただければと思います。本当に12年間、職員時代も合わせますととんでもなく長くなりますが、皆さんにご迷惑をかけながらやってまいりました。本当にありがとうございました。

総合政策課長

それでは、これをもちまして、令和7年度二戸市総合計画推進委員会を終了させていただきます。皆様には今後も様々な機会でご意見をいただくことになると思います。よろしくお願いいたします。

本日は誠にありがとうございました。

～～～ 閉会 午前9時54分 ～～～